



☆ 震災お見舞い申し上げます

3月の大震災から早くも3ヶ月が経ちました。あちらでもこちらでも日常の生活が戻りつつあります。でも、余震はまだ続くし、福島原発も予断を許さない状態です。今のこと、これからのこと、不安なことだらけです。

さて、今回はそんな不安を吹っ飛ばすように楽しい絵本を選んでみました。ほんのひとときでも、物語の世界に浸っていただければと思います。



毎日雨、でも…



絵本・かさもって おむかえ

征矢清作、長新太絵、福音館書店(こどものとも)

急に雨が降り出して、かおるは駅までお父さんをお迎えに。電車は次々とやってくるけれど、お父さんは帰ってきません。待ちくたびれてベンチに座ったかおるの所へ、オレンジ色のトラネコがやってきて……。

原色で、単純化された絵が、日常の隣にある空想の世界に誘ってくれます。

絵本・あめの日の おさんぽ

U.シェフラー文、U.ヴェンセル絵、若林ひとみ訳、文化出版局

誕生日にレインコートと長ぐつをもらったぼくは、おばあちゃんと雨の日のお散歩に。雨の中、小鳥を探したり、落ち葉をつついたり、森のにおいをかいだり……。

透明感のある色彩で、雨の日の楽しさを伝えてくれます。雨の中のお散歩に、出かけてみたいくなりますよ。

絵本・くんちゃんにとじ

ドロシー・マリノ作、間崎ルリ子訳、ペンギン社

虹の根もとには金のつまったつぼが埋まっている、と小鳥から聞いたくんちゃんは、おなべを持って探しに出かけます。リス、ウサギ、シマリスに聞きながらくんちゃんがみつけたものは……。

やさしい線画と1色だけの淡彩で描かれた絵本。くんちゃんの子どものらしい発想がかわいらしい1冊です。

絵本・ガンピーさんのふなあそび

ジョン・バーニンガム作、光吉夏弥訳、ほるぷ出版

ある暑い日、ガンピーさんが小舟で出かける時、「いっしょにつれてって！」と、子どもたち、ウサギ、ネコ、……と次々やってきて舟はいっぱいに。ところが、しばらく行くと、みんなが騒ぎ出してしまい……。

ペン画に淡い水彩を施した絵は、ほのぼのと、ゆったりした気分を味わえます。



絵本・ゆかいな かえる

ジュリエット・キーフス文・絵、石井桃子訳、福音館書店

水の中、魚に食べられずに残った四つの卵。そこから生まれたのは、4匹のゆかいなカエル。水にもぐったり、競争したり、時にはサギやカメに狙われたり。

4色だけで描かれた伸びやかな絵と、リズムカルな短い文章で、カエルたちの日常がユーモラスに描かれています。地味ですが、楽しい絵本。一度、お手にとどうぞ。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

7月16日(土)、8月20日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話会のへや



☆ もうすぐ夏休み！

もうすぐ待ちに待った夏休みがやってきます。今年は例年より暑い夏になりそうです。外はお日様かんかんで、日陰の涼しいところにいたいもの。

そこで、この機会に、普段はよまないような本にも挑戦してみてもいいでしょうか？ 楽しい本がたくさん見つかりますよ。



楽しい夏休み



絵本・たなばた

君島久子再話、初山滋画、福音館書店

(こどものとも傑作集)

天女たちが川に水浴びに来ていたとき、牛飼いは織姫の着物を隠して結婚します。子どもも生まれ、幸せに暮らしていましたが、織姫は天の玉母様に連れ戻されてしまい……。

みなさんご存知のたなばた伝説。その中でも、この絵本は、中国の昔話をもとにしたものです。

リズムのある線と、淡い水彩の絵は幻想的で、物語の世界を美しく描き出しています。

絵本・ほしになったりゅうのきば

君島久子再話、赤羽末吉画、福音館書店

竜の兄弟が大喧嘩をして、天を突き破ってしまいます。そのため、地上の村は雨とひょうに苦しめられることに。そこで、石から生まれた英雄サンとクマ王の末娘白姫は、天を繕いに出かけて行き……。

銀河と星ができた由来を語った中国の昔話を絵本にした作品。大型横長の画面に、流れるような線と、美しい色彩で、雄大な世界を描き出しています。

絵本・きょうりゅうのかいかた

くさのだいすけ文、萩内正幸絵、岩波書店

(岩波の子どもの本)

まきととめぐみは動物好きの兄弟です。いろいろな動物を飼っていました。そこへ、ある日、お父さんが恐竜の子どもをもらってきます。‘どん’と名前をつけて、家を作ったり、トイレを作ったり。みんなに手伝ってもらっても、恐竜の世話は大変です。

本当に恐竜が飼えたら、とっても楽しいでしょうね。

科学読物・星座をさがそう

藤井旭著、あかね書房(科学のアルバム)

星から星へ、次々と線で結んでいくと、神話で活躍する人間や動物の姿が浮かび上がってきます。それが星座です。この本は、その星座について、美しい写真を使って説明しています。

四季折々、東西南北のさまざまな星座の見つけ方、星座にまつわる物語も読むことができますよ。



科学絵本・いのちの木ーあるバオバブの一生ー

バーバラ・バッシュ文、絵、百々佑利子訳、岩波書店

昔、神さまが動物たちに1本ずつ木をくれました。そそっかしいハイエナは、もらったバオバブの木をさかさまに植えたので、バオバブの枝は根っこのようにごっごっしているのです。

この本は、そんな伝説をもつバオバブの木の一生を、美しい水彩で描いた科学絵本です。多くの生命を育んだバオバブの一生を、雄大なサバンナを背景に描いています。



次回は
時間
場所

8月20日(土)・9月17日(土)・10月15日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや



☆ 一緒に、こんな本はいかがでしょう？

絵本・はけたよ はけたよ 神沢利子文、西巻茅子絵、偕成社

たっくんは、まだひとりでパンツがはけません。片足を上げては「どしん！」、起き上がってはまた「どしん！」。とうとうパンツをはかずに外へ駆け出したところ……。

明るい色調でまとめられた、のびやかな絵は、ほのぼのとしていて、はぎれのよい文章に魅力を加えています。子どものちょっとした発想が楽しい絵本です。

絵本・すてきな三にんぐみ トミー・アンゲラー作、今江祥智訳、偕成社

あらわれ出でたのは、黒マントに黒帽子の大泥棒三人組。ある日襲った馬車にいたのは、みなしごのティファニーちゃん、ただ一人。そこで、彼女を隠れ家に連れて帰りましたが……。

意表をつくストーリーはコミカルで、大胆な構図に、漫画タッチの絵が効果的な楽しい絵本。意外と人情深い大泥棒だったりしますよ。

絵本・11匹きのねこ 馬場のほる作、こぐま社

いつもおなかをすかせている11匹のネコたちは、ある日、じいさんネコに教えられて、山の向こうの湖まで大きな魚を捕まえに行きます。失敗なんて何のその、やっと捕まえて家路につきますが……。

単純で漫画調の絵が、いきいきとネコたちの表情を描き出した楽しい絵本。シリーズでお楽しみください。

絵本・そらまめくんのベッド 中屋美和作・絵、福音館書店(こどものとも傑作集)

そらまめくんの宝物は、雲のようにふわふわで、綿のようにやわらかいベッド。あまり大切なので、だれにも使わせようとしなくらいです。ところが、ある日、そのベッドがなくなってしまいます。みんなに聞いても、「知らないよ」。そこで、そらまめくんはベッドを探しに出かけますが……。

美しい色彩の絵と、リズムのある文章の楽しい絵本。シリーズでお楽しみください。



読物・どうさんおはなしして アーノルド・ローベル作、三木卓訳、文化出版局

ベッドに入った7匹の子ネズミたちに、父さんネズミはお話します。おはなしの数は、一人にひとつずつ、全部で七つ。どれも短くて、ナンセンスだったり、ウィットに富んでいたり色とりどりです。茶とグレーと紫だけの小さな挿し絵は、物語の魅力を引き立たせます。おはなしが終わったら、子ネズミたちとお休みなさい。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

8月20日(土)、9月17日(土)、10月15日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや



☆ 食欲の秋！

ここ年々かは、いつまでも暑さが続いたと思ったら、突然寒くなったりと、季節の変わり目が分かりにくくなってきているようです。それでも、季節は変わってきているようで、テレビでは連日紅葉の便りが流れ、店頭にも秋らしい食べ物が目立ってきました。

そこで、今回は、食欲の秋、ということで、いろいろな食べ物の本を集めてみました。絵本の中でも、みんながいろいろな食べ物で楽しんでいますよ。



食べて、食べて…



絵本・しろくまちゃんのほっとけーき

若山憲作 ことま社(ことまちゃんえほん)

しろくまちゃんは、お母さんと一緒にホットケーキを作ります。ボールに卵を割って、牛乳を入れて、小麦粉、砂糖、ふくらし粉。混ぜて、焼いて、出来上がったホットケーキ、ことまちゃんと一緒に食べます。

はっきりした絵と擬音が効果的な絵本。作る楽しみ、食べる楽しみを描いています。

絵本・ママ、ママ、おなかがいたいよ

レミー・チャーリツ、バートン・サフリー作・絵、坪井郁美訳、福音館書店

ママが帽子を探していると、男の子が言います。

「ママ、ママ、おなかが痛いよ。」

そこで、呼ばれてやってきたお医者さんが、男の子の大きくなったおなかを見てみると、出てくる、出てくる、いろいろな物が。

白黒の影絵に、色彩が効果的な絵本。影絵芝居を見ている気分になりますよ。

絵本・ジャムつきパンとフランシス

ラッセル・ホーバン作、リリアン・ホーバン絵、松岡享子訳、好学社(フランスの絵本シリーズ)

フランシスはアナグマの女の子。ジャムつきパンが大好きで、何かと理由をつけては、ジャムつきパンばかりを食べようとします。そこで、いろいろな物を食べさせたいお母さんが考えた方法は……。

やわらかいタッチの鉛筆画で、どこの家庭にもある子どもの日常を描いた絵本。シリーズでどうぞ。

絵本・パンはころころ～ロシアのものがたり～

マーシャ・フラウン作、八木田宜子訳、富山房

おばあさんがやっと集めた二つかみの粉。その粉で焼いたパンは、おばあさん、おじいさん、野ウサギからも逃げ出した。そして、最後に出会ったキツネに……。

生き生きとした表情の絵と、リズムカルな文章の絵本。思わず歌いだしたくなりますよ。

似た内容の『おだんごぼん』『しょうがパンぼうや』も一緒に読んでみてください。



絵本・みっつのねがいごと

マーゴット・ツェマック文・絵、小園さち訳、岩波書店(岩波の子どもの本)

ある日、貧乏なきこりの夫婦が、1匹の小鬼を助けます。すると、小鬼は、お礼に願い事を三つかなえてやると言って、そのまま消えてしまいます。夫婦はいろいろ考えますが、きこりがうっかり言った一言のせいで大変なことになってしまい……。

落ち着いた色調の画風は暖かみがあり、ほのぼのと昔話の世界を描き出しています。

☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

今回は
時間
場所

12月17日(土)、2012年1月21日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや



☆ メリークリスマス & ハッピー ニュー イヤー

今年も、待ちに待ったクリスマスの季節がやってきました。街中、キラキラしていて、わくわくしてきます。それでも、今年は、震災の影響か、節電の影響か、いつもの年よりもキラキラが少ないような…。

「みみずく通信」はそんな湿っぽいことは吹っ飛ばして、今年の締めくくり、楽しいクリスマスとお正月の絵本をご紹介します。絵本を読んで、嫌なことはさっぱりと忘れてください。



絵本・クリスマスおめでとう

ひぐちみちこ作. こぐま社

遠い昔のある晩、大きな星が光り、天使が現れて、うれしい知らせを伝えます。イエス様のお誕生です。この知らせは、次から次へと伝えられ、みんながイエス様の誕生をお祝いします。そうして始まったのがクリスマスです。

はり紙調の絵で、クリスマスの本当の意味を子どもたちに伝えます。

絵本・クリスマスのふしぎなほこ

長谷川撰子文. 斉藤俊行絵. 福音館書店

(幼児絵本シリーズ)

‘ぼく’は庭で箱を見つけます。開けてみると、中にいたのは、なんと、サンタさん。そこで、‘ぼく’はその箱を家に持って帰り、ベッドの下に隠します。けれども、気になって箱を開けてみると……。

子どもの発想と行動がかわいらしい絵本。箱の中の世界がとても幻想的で、美しいですよ。



絵本・子うさぎましろのお話

佐々木たづ文. 三好碩也絵. ポプラ社

体に炭をぬって、白ウサギの子‘ましろ’はプレゼントを2度ももらいます。ところが、その炭が落ちなくなってしまう、いけないことをしたと気づいた‘ましろ’は、もらった種を土に埋めて、神様にお返しします。すると、その種は……。

‘ましろ’の無邪気さ、もみの木になったプレゼントなど、ワクワクするものがたくさん。色鉛筆による線画も美しい絵本です。



絵本・まどから おくりもの

五味太郎作・絵. 偕成社 (五味太郎・しかけ絵本)

サンタクロースがヘリコプターでやってきた。でも、このサンタクロース、ちょっとあわてんぼうみたいです。窓からのぞいて、ここはネコの家、と思ったら、実は、ネコのアップリケのついたパジャマを着たブタの家だったり。

楽しいしかけ絵本です。サンタクロースと一緒に窓をのぞいてみては。



次回は
時間
場所

2012年 1月21日(土) . 2月18日(土)
午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話し会のへや



☆ まだまだ、ありますよ。

絵本・おもいででのクリスマスツリー

グローリア・ヒューストン文、バーバラ・クーニー絵、
吉田新一訳、ほるぷ出版

ルーシーは、アパラチア山脈の奥の小さな村に住んでいました。この村では、協会に飾るツリーを、毎年、家々が交代で選んでいました。今年もルーシーの家の版です。そこで、ルーシーとパパは、すばらしいバルサムモミをツリーに選びました。

古くからの習わしを伝える、小さな村のクリスマスのお話です。



あけましておめでとう！

絵本・かさじぞう

瀬田貞二再話、赤羽末吉画、福音館書店（こどものとも）

大晦日、貧しいじいさんが、笠を五つ作って町へ売りに行きますが、だれも買ってくれません。その帰り道、雪の中に立つ六地蔵を気の毒に思ったじいさんは、自分の笠も脱いで地蔵にかぶせて帰ります。すると、正月の明け方、そりひきの声が出てきて……。

暖かな雰囲気を持つ日本の昔話。扇面に描かれた墨絵も、話のイメージを引き立てます。



絵本・はつゆめはひみつ

谷真介文、赤坂三好絵、佼成出版社

正月三日の朝、大金持ちの主人が、お手伝いさんたちに、

「いい夢を見たものは、その夢を買ってやろう。」

と言います。ところが、小僧の久助だけは、どうしても話さなかったため、家から追い出されてしまいました……。

どうして初夢は人に話してはいけないのか、そのわけを教えてくれる絵本。銅版画の絵は暖かみがありますよ。

絵本・ラップランドのサンタクロース図鑑

～北歐コルヴァントゥリからのおくりもの～

ペッカ・ヴォリ著・絵、迫村裕子訳、文溪堂

フィンランドのラップランド地方、そこに、誰にも知られずひっそりとあるのが、サンタクロースと、その手伝いをするトントウたちの国コルヴァントゥリです。この本は、そのコルヴァントゥリの1年を紹介しています。トントウたちはお芝居や音楽が好きだったり、サンタクロースは、夏休みを南の方にある島で過ごしていたり。楽しいおはなしがいっぱいですよ。

今年は辰年

絵本・とうさんはタツノオトシゴ

エリック・カール作、佐野洋子訳、偕成社

たいていの魚は、卵を産み付けると、親魚はどこかに行ってしまう。ところが、なかには子育てをする魚もいます。しかも、子育てするのはお父さん！

この本は、タツノオトシゴを通して、そんな子育てするお父さん魚を紹介しています。

楽しい透明フィルムによるしかけ付きです。

絵本・ほしになつたりゅうのきば

君島久子再話、赤羽末吉画、福音館書店

竜の兄弟がけんかをして、天を突き破ってしまいます。そのため、地上の村は雨とひょうに苦しめられることに。そこで、石から生まれた英雄サンとクマ王の末娘白姫は、天をつくろいに出かけて行き……。

銀河と星ができた由来を語った中国の昔話を絵本にした作品。大型横長の画面に、流れるような線と、美しい色彩で、雄大な世界を描き出しています。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいお話を聞きに来てください！

次回は
時間
場所

2012年 1月21日(土)、2月18日(土)
午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話し会のへや



☆ 寒くて、寒くて…

今年は何んだか、例年になく寒いような気がしますね。それでも、子どもたちは元気に外を飛び回っています。けれども、付き合う大人たちは早く家に入りたくて…、といった、ところでしょうか。

そこで、今回は、家の中でも、親子で楽しめる絵本を集めてみました。読んだらかえって、外に出てみたくなるかもしれませんよ。



寒さに負けるな！



絵本・ **てぶくろ** ウクライナ民話
ラチョフ絵、内田莉莎子訳、福音館書店

雪深い冬の森の中、おじさんが落としていった手袋をみつけて、ネズミが住み着きます。そこへ、カエル、ウサギ、キツネ、と次々やってきて…

動物たちの、問答の繰り返しが楽しい絵本。民族色豊かな絵や、動物が増えるにつれて家らしくなっていく手袋の様子も楽しいですよ。

絵本・ **ゆきがやんだら**
酒井駒子作、学研

雪がいっぱい降って、園がお休みに。ママは外に出ちゃだめって言うけれど、“ぼく”は内緒でベランダに出てみます。ベランダから、ママと一緒に見た外は、寒くて、静かで、「ぼくとママしかいないみたい」

雪の日の一日を静かに描いた絵本。灰色の世界に降る雪も美しいです。

絵本・ **ゆきのひのおくりもの**
ポール・フランソワ作、ゲルダ・ミュラー絵、ふしみみさお訳、パロル舎

雪がしんしん降るある日、食べ物を探しに出かけた子うさぎは、ニンジンを2本見つけます。そのニンジン1本食べてから、友達思いの子うさぎは、もう1本を子馬のところに持って行ってあげることに。そして、子馬は…

中国の民話を絵本にした1冊。子うさぎたちの優しさが、心温まる作品です。

『しんせつなともだち』もご一緒にどうぞ。

絵本・ **おしくら・まんじゅう**
かがくいひろし作、フロンテス新社

「おしくらまんじゅう、おされて…」で、おされるのは、おまんじゅうに、こんにやくに、納豆に幽霊。

子どもの頃に遊んだおしくらまんじゅうが、楽しい絵本になりました。

明るい色彩の絵と、単純な繰り返しの文章で、子どもの遊びの世界を描き出しています。お子さんと一緒に、遊びながら読んでみては。



絵本・ **ふゆめがっしょうだん**
富成忠夫、茂木透写真、長新本文、福音館書店(かがくのとも傑作集)

ウサギやコアラの顔に見えたり、帽子をかぶった子どもの顔をしていたり……。どの写真も、みんな木の冬芽を拡大して写したものです。そんな、いろんな連想を誘う冬芽の写真に、軽快で、ユニークな言葉がつけました。まるで、みんなそろって合唱しているように見えますよ。

☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

3月17日(土)、4月21日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや